

6 指宿地域の特色を生かした稼げる花き産地の育成

指宿地域の特色を生かした稼げる花き産地の支援

成果の要約

- 1 後継者を含む若手農家への個別重点指導により、基礎技術の習得に至った。
- 2 病害虫及び生理障害等の診断結果をデータベース化し、迅速化な対策指導に繋げた。
- 3 観葉女性部Ms.の会の活動支援を行い、産地PRに繋げた。
- 4 働き手を確保したい観葉植物の農業者と農業体験をしたい人とのマッチングを通じて、労働力確保に繋がる取組を支援した結果、今後の雇用確保が期待される。

1 対象

- (1) いぶすき農協観葉植物部会 47 戸
- (2) 新規・青年農業者 8 戸
- (3) 観葉女性部 Ms.の会 8 戸

2 課題を取り上げた理由

- (1) 後継者や新規参入者は基礎的な技術が未熟であることと、個々の農家でそれぞれの課題がある。
- (2) 観葉植物は約 200 種類を超える品目構成であるうえ、参考文献が少ないマイナー品目も多く、病害虫防除等の対策指導に苦慮している。
- (3) コロナ禍による巣ごもり需要が終わり、観葉植物の出荷額はピーク時から減少しており、PR 活動を通して有利販売に繋げる必要がある。
- (4) 南薩地域は、高齢化による人口減少で、将来にわたる労働力の確保が喫緊の課題となっている。



写真1 若手農家への個別指導

- (2) 病害虫及び生理障害等の診断結果のデータベース化

令和4年度以降の約70件の診断結果を整理し、データベース化した(写真2)。活用により迅速な病害虫診断及びその対策指導が図られた。

3 活動の内容及び成果

- (1) 新規・青年農家への支援
後継者を含む若手農家を対象に、それぞれの技術課題に対応した個別重点指導により、個々の青年農家が土壌肥料や病害虫防除等の基礎技術の習得に至った(写真1)。



写真2 診断結果データ

(3) 観葉女性部 Ms.の会の活動支援

令和4年2月に再結成し、現在は8人で活動を行っている。

令和6年度は「キラリ輝く☆女性農業者応援事業（女性農業者チャレンジ活動）」を活用して、チェックラベルの作成、資質向上研修、PR活動等の取組を支援した。

ア チェックラベルの作成

置場、明るさ、水やり等の手入れの仕方、リーフワード（花ことば）、観葉のまち指宿のQRコードを載せ、消費者との情報交換ツールとして活用できるように作成を支援した（写真3）。



写真3 チェックラベル

イ 資質向上研修（鹿児島市）

講師を招き、観葉植物の寄せ植えやラッピング、陳列方法等について研修を行い、販売に活かせるよう助言した（写真4）。



写真4 研修会風景

ウ グリーンフェスタいぶすきでの消費者交流支援

資質向上研修で得た知識・技術を活かした観葉植物の苗を使った寄せ植え体験や、ミニコンテナ観葉づくりのワークショップに向けて、運営方法等について助言した（写真5）。



写真5 ミニコンテナ観葉づくりのワークショップ風景

(4) 労働力確保に繋がる取組支援

「農業労働力確保対策モデル事業」を活用した5戸の観葉植物農家に対し、労働力確保に繋がる取組を支援した（写真6）。



写真6 農家者・参加者の顔合わせの様子

4 今後の課題

- (1) 新規・青年農家への支援
個別重点指導による基礎技術の向上。
- (2) 病虫害及び生理障害等の診断結果のデータベース化
データベースを活用した迅速な対策指導。
- (3) 観葉女性部 Ms.の会の活動支援
観葉女性部「Ms.の会」の活動支援と指宿の観葉植物の知名度向上。
- (4) 労働力確保に繋がる取組支援
将来にわたる労働力の確保。

5 担当した普及職員（〇はチーフ）

〇田中、黒木、町田